

学区・地域

①学校のはじまり

昭和45年頃から、急速にふくれ上がった野川地区の人口、そして野川小学校児童の過密化、その解消のために計画されたのが、南野川小学校（仮称第二野川小学校）である。昭和47年9月、用地買収もやっと完了し、建設に向けて着々と準備が進む。

そして、関係各位のご理解とご協力により、市として初めてのリース式オープンプレハブで昭和48年4月開校の運びとなる。同時に、鉄筋4階建て19教室と体育館の工事が進み、昭和49年2月に完成をみて、新校舎に移って心機一転スタートする。

②地域の概要

野川の南部に位置して東は久末と接し、南は有馬川を隔てて横浜市都筑区東山田から港北ニュータウンへと続き、西は有馬へ、北は野川小学校区と接している。

本校は、学区のほぼ中央に位置しており、多摩丘陵の台地上にある。屋上からの展望は、360度見渡すことができ、遠くは大山・丹沢が見え、富士山も望むことができる。台地には、畑が広がり、斜面には雑木林や竹やぶがあり、有馬川沿いには昭和59年頃まで田が一部残っていた。

学区には昭和42年に建てられた5階建ての県営南台団地のアパート群があり、近くを第三京浜国道が通っている。学校下のバス通りには、工場や運送会社、倉庫などがある。最近、畑や空き地だったところにマンションや住宅が建ち、大型店舗もできた。近年は、学区で2つ目の「ふれあいの森」もできた。地域環境が変化してきている。

③通学区域図

